

木楽々通信

～弊社社長よりご挨拶申し上げます～

昨年末の大雪と新型コロナの影響で、不自由な中での長い冬もあともう少しの所まで来ました。国内でも医療従事者へコロナワクチンの先行接種が始まっております。何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が取り戻せるよう心から願っております。

これからも自然素材を生かしながら、新しい生活様式を模索していきたいと思っております。

今後共々宜しくお願い申し上げます。



木楽々な暮らし～お施主様の声～

【2012年3月に新築されたAさまより】

友人のMさんにご紹介頂き、木楽々工房さんと出会い木の温もりあふれる我が家を造っていただき10年になります。暖かい薪ストーブと蓄熱暖房で真冬でも暑いぐらいの日もある我が家も、当初4人で入居した我が家も、新しい家族を向かい入れ、今は4人と5匹(犬2匹、猫2匹、ウーパールーパー1匹)で生活しています。今シーズンの冬は特に寒さが厳しいですが、暖かい我が家は快適に過ごしております♪
木楽々工房の皆様には、薪割りくらぶなどで大変お世話になっております。これからもよろしくお願い致します。



明るい笑顔がとっても素敵♡ですね(#^^#)
ご家族の仲の良さが伝わる良い写真です☆

ほっとな現場から

現在進行中！

藤沢町 有料老人ホーム

藤沢町黄海に昨年10月より建設中の老人ホーム。

現在の工事進行状況を工務の千葉よりお知らせします。

『昨年の暮れに上棟した現場は今、大工さんをはじめ多くの職人さんが入り、最盛期を迎えています。』

3月初めには足場が取り外され外観がどこからでも見られるようになるので楽しみに(*^-^*)』



次回の木楽々通信では完成形に近い外観をお見せできるのではないかと思います。5月完成に向けて着々と進められています。

おすすめBOOK

散歩が楽しくなる『樹の手帳』

岩谷美苗著
東京書籍



会長から「これ、読んでみて！」と渡されたこの本。

身近な所(街路・学校・公園・寺社・住宅街・里山)で見られる樹木について、1種ごとに見開き単位で写真+非常に特徴をとらえたコンパクトな説明が



添えられており、面白く一気に読めました。タイトル通り手帳サイズで、持ち歩くのになちょうどいい大きさです。公園や寺社、街路樹や住宅地、雑木林などでよく見かける樹木の雑学が、著者の独特な視点でユーモアたっぷりに語られています。

ただ面白可笑しいだけでなく、樹木医として見るべきポイントをしっかり押さえてあるところがミソです♪

木楽々くらぶ 活動報告

第6回「館々森ごっつおマラソン」

2月7日、花泉町と藤沢町をコースとする「館々森ごっつおマラソン」(定員100組)に木楽々くらぶの期待の星☆鈴木さん、佐川さんが出場しました☆
当日は朝からあいにくの雨、止んだと思ったら、

スタート直後にまた降りだし...ランナーの皆さんは雨なんてものともせず久しぶりのRUN!を楽しんでいましたよ♪

←いつも通りの快調な走りを見せる鈴木さん

もちろん!鈴木さん、佐川さんは余裕の走りです!!



↓愛犬ペロミと快走する佐川さん



↑無事完走したペロミ

みてみてー♡
愛らしいこの表情(*^▽^*)

注意

寒い脱衣所から急に温かい湯船に入ると、急激に血圧が下がる「ヒートショック」と呼ばれる状態になる危険性があります。脱衣所を温めたり、お湯を熱くしすぎない、かけ湯をしてから湯船につかるなど十分に注意しましょう!

神事に使う“木”、知っていますか?

神社で祭られるのはもちろんのこと、家庭の神棚にも供えられる榊(サカキ)。日本神話で神様のいる場所に榊を立てたという古事が元となっています。榊(サカキ)の語源については諸説あり、「神と人間の境界にある木→境の木」、「常に葉が緑で栄える→栄える木」、あるいは神聖な木を意味する「賢木」が転じたとする説があります。もともと榊(サカキ)は固有の植物名ではなかったようで、のちに特定の木をさして榊(サカキ)と呼ぶようになったようです。



【発行】木楽々工房 編集部 伊東

2021年122号

岩手県一関市藤沢町砂子田字境田15番地2

展示場 ☎0197-56-6980(土、日、祝日) 本社 ☎0191-63-4160(平日)

Eメール tamazawa@kirara-airpass.com

☆ご意見ご感想などお便りをお待ちしています☆ 令和3年2月発行